

英語教育充実推進事業

－No.1 さいたま市－

【事業の内容】

本事業は、全てのさいたま市立小・中学校で、教科として、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を一貫したカリキュラムに基づく授業を展開する「グローバル・スタディ科(仮称)」を実施するものです。これにより、将来、さいたま市の子どもたちが、グローバル化の進展する社会に適応し、言語や文化が異なる人々と主体的に協働していくことができる人材となるための基礎を築くことを目指します。



さいたま市PRキャラクター
つなが竜ヌゥ

【事業年度】

平成27年度～

【予算額(年度・千円)】

183,571千円(平成27年度)

【予算内訳(一般財源・特定財源・千円)】

一般財源

182,722千円

特定財源(ALT(外国語指導助手)に係る雇用保険本人負担額)849千円

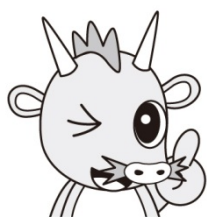
【事業実施に至った背景・経緯】

グローバル化が進展する社会では、海外の人々とも互いに理解し合い、同じ目標に向かって一つのことを成し遂げることができる人材が、ますます必要とされています。言語や文化が異なる人々と協働するためには、共通の言語である英語の力はもちろん、主体的に他者とかわろうとする態度や、よりよい人間関係を築いていく力が重要になってきます。

さいたま市では、平成19年度から全ての市立小学校5年生から中学校3年生までを対象に、独自のカリキュラムによる、さいたま市小・中一貫「潤いの時間」の中で「英会話」を実施してきました。今回は、このカリキュラムの中

でも特に、様々な国について理解し尊重するための多文化共生や異文化理解の視点、日本について発信するための自国の伝統文化理解の視点、コミュニケーション能力育成の視点から必要な項目をさらに充実させ、「潤いの時間」を小学校１年生から中学校３年生までの９年間分のカリキュラムに再編成し、「グローバル・スタディ科(仮称)」として全ての市立小・中学校で行うことにしました。

【事業のPRポイント】



国では、平成３２年度を目標にグローバル化に対応した新しい英語教育の実施を計画していますが、さいたま市では、平成３０年度からの全面実施を目指し、平成２８年度から全ての市立小・中学校において、段階的に授業時間を増やししながら、「グローバル・スタディ科(仮称)」を実施します。また国では、新しい英語教育を小学校３年生から外国語活動として、小学校５年生から教科として実施する予定ですが、さいたま市においては、小学校１年生から教科として実施します。

さいたま市では、「グローバル・スタディ科(仮称)」の授業を通して、英語で物怖じせず意見を述べ、他者と積極的にコミュニケーションを図ることができ、我が国やさいたま市の伝統文化を深く理解するとともに、これらに誇りをもち、将来にわたり社会に貢献する子どもの育成を目指します。

【今後の展開】

- | | |
|--------|---|
| 平成２７年度 | 「グローバル・スタディ科(仮称)」のカリキュラムの研究開発モデル校（小学校３校、中学校２校）において、開発中のカリキュラムの実施・検証 |
| 平成２８年度 | 市内各小・中学校において、段階的に授業時数を増やししながら、「グローバル・スタディ科(仮称)」のカリキュラムを実施予定 |
| ・ | |
| ・ | |
| 平成３０年度 | 市内各小・中学校において、全面実施予定 |

〔 連絡先 〕

さいたま市教育委員会 指導１課 国際教育係

電 話 ０４８（８２９）１６６２ 内線 ４０５９